

3 . 緑化重点地区について

(1) 緑化重点地区とは

緑化重点地区は、「緑の基本計画」制度創設に伴い、法律上の制度として創設されたものであり、以下のような役割があります。

緑化重点地区を、緑の基本計画の緑地等の配置計画に位置づけることにより、地区レベルの詳しいプランを策定することができます。また、緑化重点地区に対しては、緑化重点地区総合整備事業等により、集中的に事業を行うことが可能となります。さらに、緑化施設整備計画を認定することにより、緑の基本計画が目指すものをモデル的に具体化し、他の地区での緑化意識の高まり等の波及を目指すことが出来ます。

(2) 設定要件

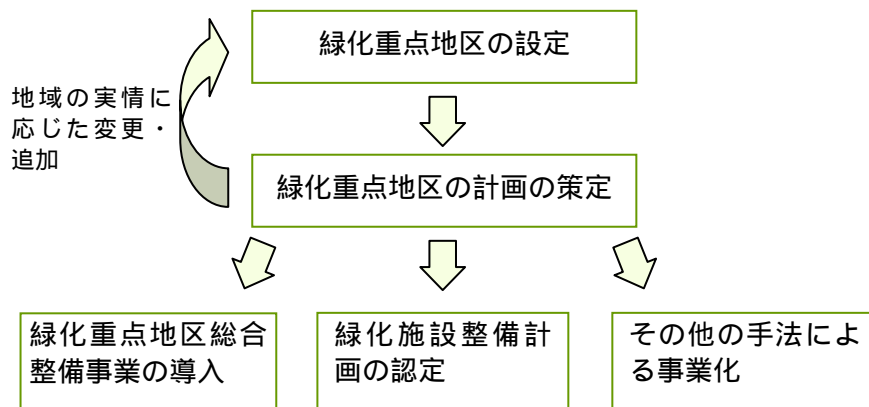
本計画においては、第1章 計画の目標水準の緑化の目標で明らかにしているように、公園緑地などの緑地の整備と、民有地を含めた住民による緑化によって、市街地全体の緑の量を増加させて、良好な市街地の環境を形成させることが重要な課題となっています。

このため、緑化重点地区については、地域の実情に応じて効果的な緑化ができるよう、以下の設定要件を設けて検討を行いました。

設定要件

- 1) 駅前等都市のシンボルとなる地区
- 2) 緑の少ない地区
- 3) 周辺に良好な自然があり環境の維持が特に重要な地区
- 4) 市街地開発事業等の予定地区
- 5) 緑地協定の締結の促進等により良好な住宅地の形成を促進する地区
- 6) 住民の憩いの場を創出するため公園緑地の新設・再整備が必要な地区
- 7) 公共施設と民有地の一体的な緑化及び景観形成により良好な環境の保全及び創出を図る地区

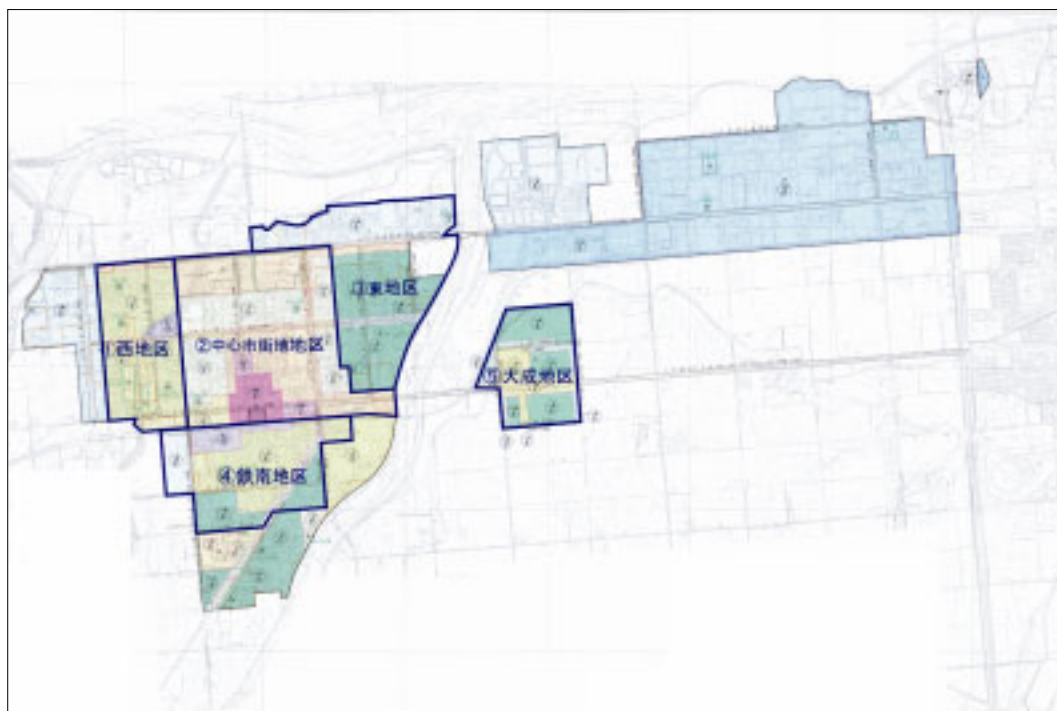
事業化までの流れ



(3) 地区の設定

選定要件に基づき、緑化重点地区を次の5つの地区に設定します。

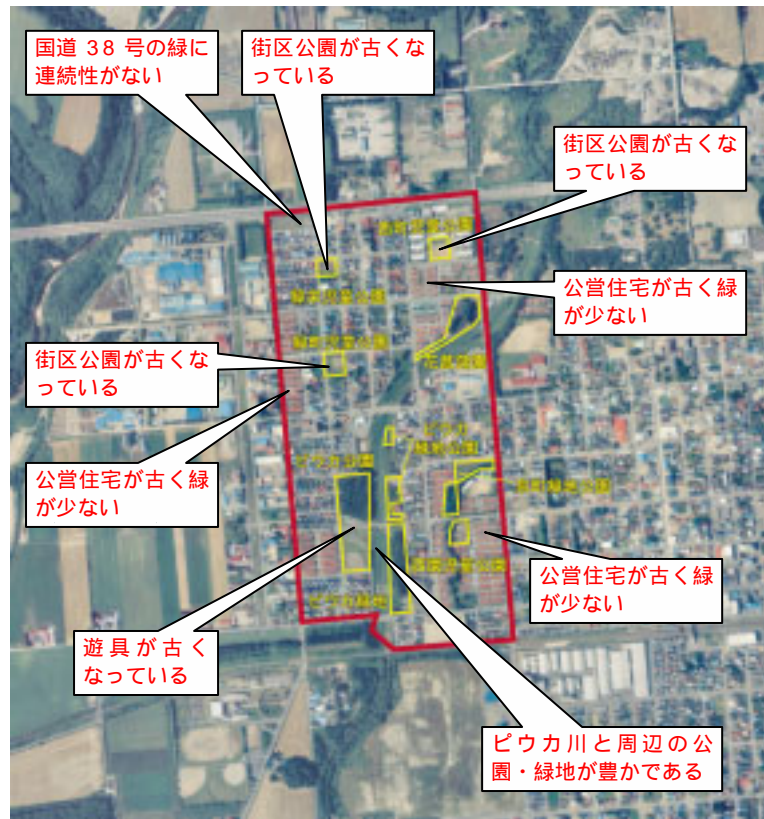
地区名	設定要件
西地区	6) 7)
中心市街地地区	1) 2) 6)
東地区	2) 4) 6)
鉄南地区	2) 6) 7)
大成地区	3) 4) 5) 6) 7)



(4) 課題と整備内容

西地区

現況図



64.9ha

地区の課題

- ・ 地区内には多数の公園が整備されていますが、古くて設備が整っていない小公園があり利用頻度が下がっています。このため、利用者に合わせた公園緑地の整備が必要です。
- ・ ピウカ公園の遊具が古くなっており、整備が必要です。
- ・ 昭和 30 年代、40 年代に建設された公営住宅が多数あり、緑も少ない状態です。これらの建替え時には、公営住宅から緑豊かな生活環境のモデルとなるような緑化が必要です。
- ・ 地区の中心を流れるピウカ川の河川敷の緑は、環境保全、防災の視点から保全が重要です。同時に、町民に親しまれる親水空間の確保が必要です。
- ・ 国道 38 号に緑の連続性がないため、芽室公園のカシワの景観的な好印象が薄れています。

地区の目標

ピウカ川の親水空間の活用と、公営住宅を中心とした緑化による、環境に恵まれた緑豊かな住宅地の創出。

地区の整備内容

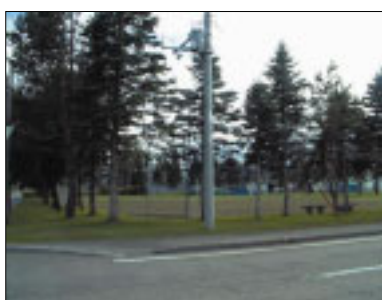
- ・ピウカ川の河川敷の緑を守りつつ、町民が親しめる親水空間の確保を図ります。
- ・西町児童公園、緑栄児童公園、緑町児童公園は、施設が古くなっているため、近隣住民のニーズに合わせた再整備を図ります。
- ・緑町団地、新西町団地、西園町団地の建替え時には、緑化スペースを十分に確保し、近隣住宅の先導となるような緑の居住空間をつくります。
- ・ピウカ公園の遊具が古くなっているため、利用者に合わせた安全な新しい遊具を整備します。
- ・国道38号沿道に緑を増やし、芽室公園から連続した緑の景観を創出します。



緑栄児童公園



ピウカ公園



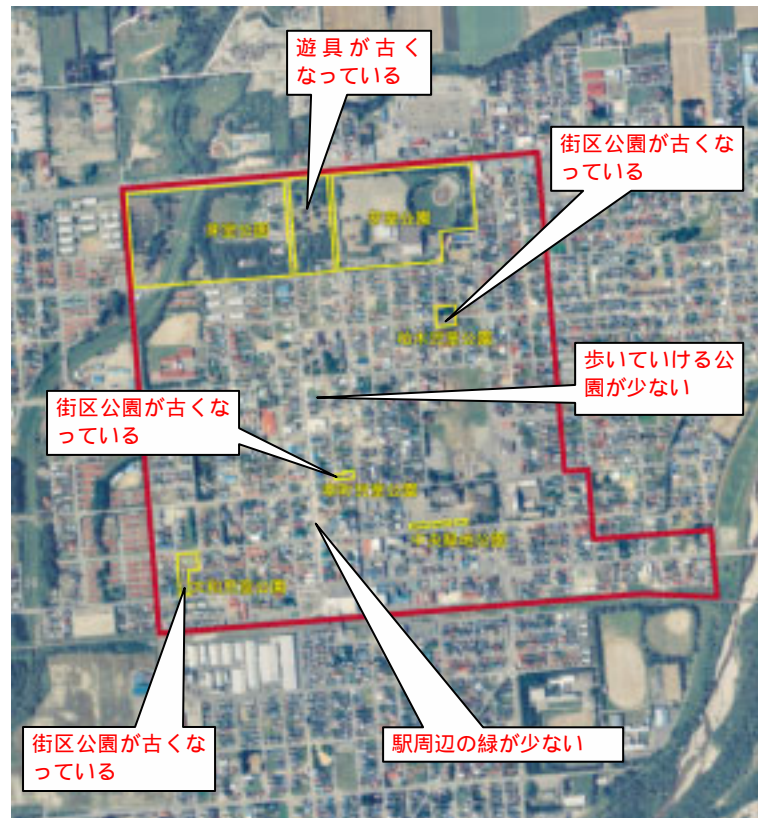
緑町児童公園



ピウカ緑地

中心市街地地区

現況図



140.6ha

地区の課題

- ・緑被率調査の結果から、駅周辺の緑が少なくなっています。
- ・街路樹がまだ幼く、建物とアンバランスなため、適正な維持管理で景観の向上を図っていく必要があります。
- ・アンケート調査では、歩いていける範囲の公園が少ないという意見が挙げられており、特に本地区は公園緑地の数が少なくなっています。
- ・芽室公園の遊具が古くなっています。
- ・柏木児童公園、大和児童公園、幸町児童公園が古く、特に幸町児童公園は規模も小さいため、再編も含めた施設の再整備が必要です。
- ・空き地を活用したポケットパークや花などによる緑化が望まれています。

地区の目標

町の顔となる地区として、駅周辺の景観向上と、空き地等を活用した潤いのある商業地、住宅地の形成。

地区の整備内容

- ・まだ若い街路樹の適正な維持管理を行い、適正な位置に街路樹やシンボルとなる植樹を行うことで、町の顔として景観の向上を図ります。
- ・商店街や空き地にポケットパークなどをつくり、花などによる緑化を行って、景観にも配慮した潤いのある商店街、住宅地の形成を目指します。
- ・柏木児童公園、大和児童公園、幸町児童公園が古く、特に幸町児童公園は規模も小さいため、再編も含めた公園の再整備を検討します。
- ・歩いていける公園が少ないため、新たな公園を整備します。この際、芽室高校跡地の利用も検討します。
- ・芽室公園の古くなった遊具を新しくします。



芽室公園

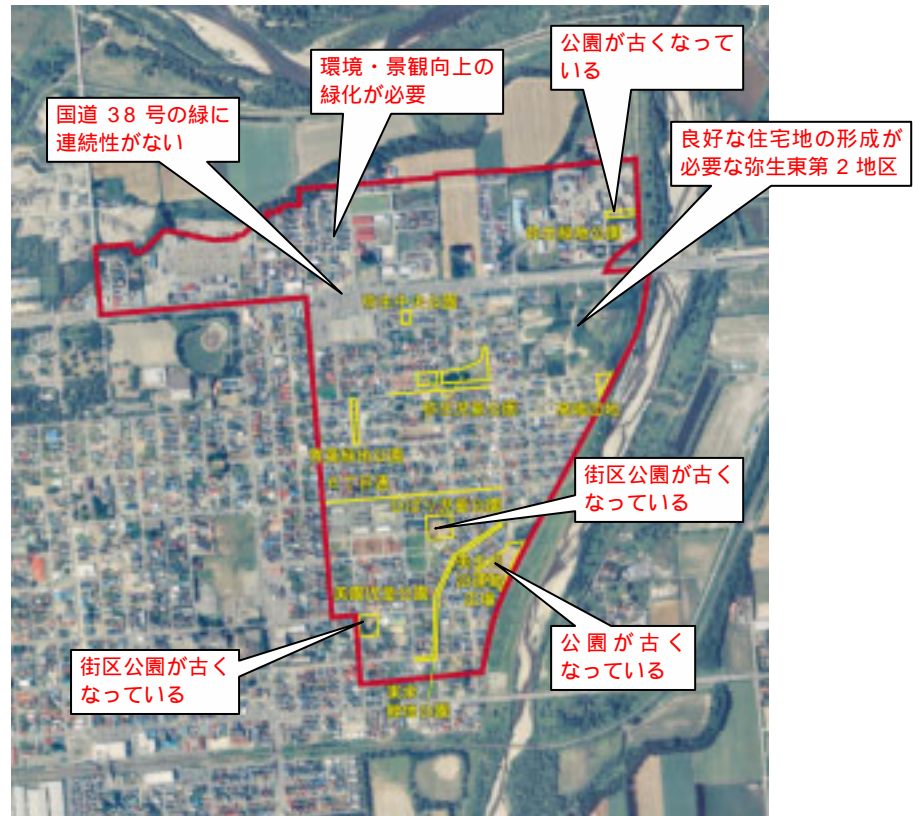


柏木児童公園



大和児童公園

東地区
現況図



100.7ha

地区の課題

- ・ 地区内には多数の公園が整備されていますが、古くて設備が整っていない小公園があり利用頻度が下がっています。このため、利用者に合わせた公園緑地の整備が必要です。
- ・ 新たな市街地の拡大に伴い、良好な住宅地の形成が必要です。
- ・ 北側の工業地域は住宅と工場倉庫等の業務施設が混在しているため、環境や景観の面から緩衝となる緑が必要になっています。
- ・ 国道 38 号に緑の連続性がないため、芽室公園のカシワの景観的な好印象が薄れています。

地区の目標

緑を活用した北側工業地の環境向上と、新たな市街地の形成に伴う良好な住宅地の形成。

地区の整備内容

- ・ 弥生緑地公園、ひばり児童公園、美園児童公園、美生川沿運動広場は施設が古くなっているため、近隣住民のニーズに合わせた再整備を図ります。
- ・ 新たに市街地に編入される弥生東第 2 地区は、既存住宅地のモデルとなるような緑豊かで潤いのある住宅地の形成を目指します。
- ・ 北側の住宅地と工場倉庫等の業務施設が混在している工業地は、敷地規模が小さいため、小スペースを活用した緑化により、住宅地の環境を守る緑化を行います。
- ・ 国道 38 号沿道に緑を増やし、芽室公園から連続した緑の景観を創出します。



弥生緑地公園



青葉緑地公園

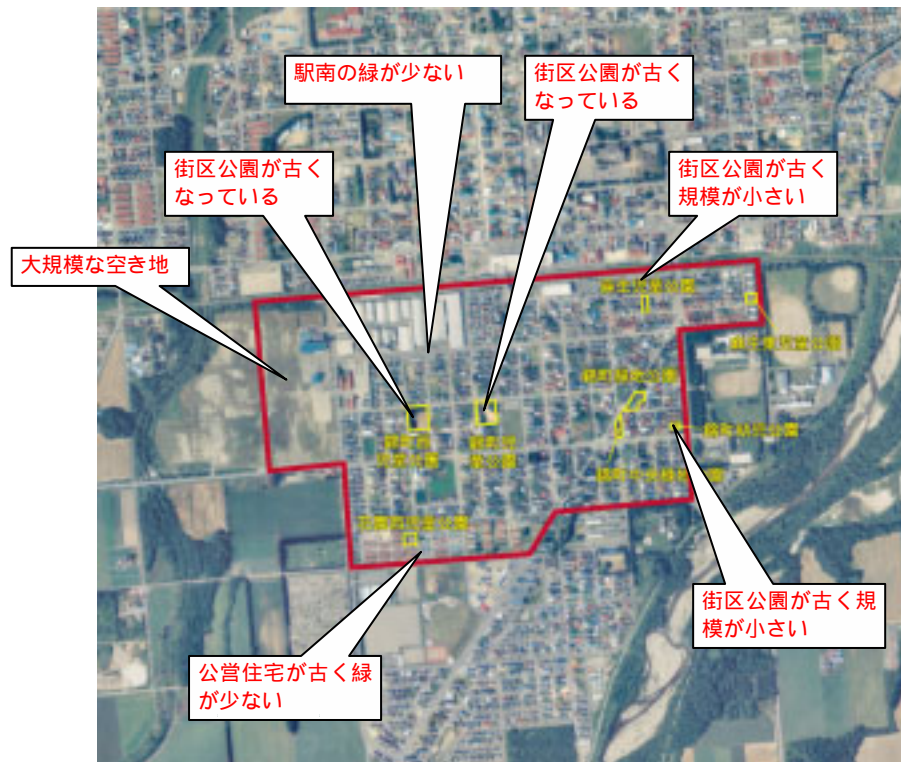


美園児童公園



ひばり児童公園

鉄南地区
現況図



77.1ha

地区の課題

- ・緑被率調査の結果から、駅南の緑が少なくなっています。
- ・地区内には多数の公園が整備されていますが、古くて設備が整っていない小公園があり利用頻度が下がっています。このため、利用者に合わせた公園緑地の整備が必要です。
- ・昭和30年代、40年代に建設された公営住宅があり、緑も少ない状態です。よって建替え時には、公営住宅から緑豊かな生活環境のモデルとなるような緑化が必要です。
- ・本地区には、今後の土地利用を検討する大規模空き地などがあり、新たな施設建設の際などには、周辺環境に配慮した緑化を行う必要があります。

地区の目標

既存公園の再整備等による、身近に緑のある潤いある住宅地の形成。

地区の整備内容

- ・ 錦町西児童公園、錦町児童公園、麻布児童公園、錦町幼児公園は、施設が古くなっています。また、本地区は規模の小さな公園が点在しているため再編を含めた公園の再整備を検討します。
- ・ 花園町西団地の建替え時には、緑化スペースを十分に確保し、近隣住宅のモデルとなるような緑の居住空間をつくります。
- ・ 大規模空き地などに新たな施設を建設する際などには、周辺環境に配慮した緑化を行い、地区の環境向上に貢献します。



錦町児童公園



錦町西児童公園

大成地区
現況図



48.2ha

地区の課題

- ・新たな住宅地が形成される地区であり、ゆとりの住宅地を形成するために、公園緑地等の整備が必要です。
- ・ニュウジルシの連続する緑など既存の緑を保全した、環境に配慮した住宅地の形成が望まれます。
- ・新たな公共施設建設の際には、緑化スペースを確保し、公共施設の緑化のモデルとなることが望まれます。
- ・新しい住民の理解を得て、民有地の緑化のモデルとなるような緑の住宅地の形成を図る必要があります。

地区の目標

新規住宅地として、他地区のモデルとなるような、ゆとりある環境共生型住宅地の形成。

地区の整備内容

- ・ ゆとりある住宅地の形成のため、街区公園、近隣公園、緑地等の整備を行います。
- ・ ニュウジルシの連続する緑など既存の緑を保全した、環境に配慮した住宅地の形成を図ります。
- ・ 新たな公共施設建設の際には、緑化スペースを確保し、公共施設のモデルとなるような緑化を行います。
- ・ 民有地の緑化のモデルとなるような住宅地形成のため、新たな居住者に積極的な緑化を奨励します。